



①



②



③



④

①②ゆうあいセンターボランティア出前授業(ボランティア先生) ③④接遇セミナー

岡山県社会福祉 6

特集 県域におけるNPO活動支援のあり方 ～ゆうあいセンター第4期指定管理の取り組み～

p2

p5 赤い羽根共同募金
共同募金配分交付式
「地域ささえあいプロジェクト」参加団体の募集について

p6 県社協ニュース
事業報告・決算報告
権利擁護フォーラムのご案内
高齢者・障がい者なんでも相談会のご案内
県社協 新任職員紹介
福祉の就職総合フェア～岡山夏～のご案内

p10 現場からの発信
不登校・ひきこもりの子と親の居場所づくり
～フリースペース あかね～

p12 「ふくし」の仕事人たち
SELP商品のご紹介



社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会

URL: <http://www.fukushiokayama.or.jp>

Facebook: <https://facebook.com/fukushiokayama/>



この機関紙は、共同募金の配分金によって発行しています。

特集

県域におけるNPO活動支援のあり方 ～ゆうあいセンター第4期指定管理の取り組み～

県域のNPO（ボランティア団体を含む民間非営利組織）支援組織、岡山県ボランティア・NPO活動支援センター「ゆうあいセンター」をご存知ですか？
今号の特集では、設置主体である岡山県の宮原さん、管理運営を担う岡山NPOセンターと岡山県社協のスタッフに、みんなで作る財団おかやまの石田さんを交えた座談会により、県域のNPO活動を支援する「ゆうあいセンター」の取り組みをご紹介します。

ゆうあい君（ゆうあいセンターマスコットキャラクター）

今年度からセンター長となった西村さん。はじめに、ゆうあいセンターの取り組みと今後の方針を教えてください。

これまでの取り組みと今後の方針

西村さん 昨今、被災地でのボランティア活動が大きくメディアに取り上げられるなど、ボランティア活動が広く、より身近なこととして伝わってきています。ゆうあいセンターにおいても、ボランティア・NPOの活動が一部の人だけが行う特別なことではなく、ま

た、平常時・災害時を問わず、誰もができることとして、活動者の裾野を広げる取り組みをしてきたところです。

今後の課題としては、若者をはじめ多様な世代の市民性をどう育み、促していくかが挙げられます。「一人ひとりが主役のまちづくり」を後押しできる、そんなセンターにしていきたいと思っています。

ゆうあい君 ボランティアやNPO活動につながる機会を提供すること、誰もが「役割」と「居場所」を持って、主体的・積極的に社会参加できる環境整備（福祉教

育や市民教育への取り組み）をしていくのですね。では宮原さん、センターの設置目的と役割を教えてください。

第4期指定管理業務について

宮原さん ゆうあいセンターの管理運営は、岡山県社会福祉協議会と岡山NPOセンターで構成された管理運営共同体に行ってもらっているところです。今年度からの新たな5年間、第4期の指定管理にあたっては、これまでのNPO活動の支援を継続しつつ、NPO支援組織の育成に重点を置き、次

の4つの特定事業をお願いいたします。

- ① ボランティア・NPO専門相談事業：NPO法人等の設立・運営に関する法律・会計・労務・経営の各専門家による相談の実施
- ② NPO支援組織スキルアップ事



座談会の様子（ゆうあいセンター大会議室3にて）

ゆうあい君

県内ボランティア・



岡山県 県民生活部
県民生活交通課 県民協働推進班
副参事 宮原雅史さん

業：NPO支援組織のネットワーク化を図るとともに、活動にあたって有益な情報の収集・提供（共有・拡散（地域に広める））、スタッフを対象とした研修会の開催、実施事業の企画・立案のノウハウ提供など、NPO支援組織のスキルアップ

③ ボランティア・NPO人材育成
研修事業：「組織マネジメント」及び「事務能力向上」に関する研修の実施

④ ボランティア・NPO活動情報発信事業：WEBマガジン「ボランティア」、「SOCIAL GOOD OKAYAMAI」、「おかやまシエア・ウェブ」等を活用した情報の発信と収集

NPOが持つ力を充分に発揮できるように、専門相談事業や人材育成研修による個別支援と、NPO支援組織のネットワーク化や既存資源の有効活用など、中間支援組織の機能強化を図ることが求められているのです。では、センター長から特定事業の推進方策を聞かせてください。

西村さん 第4期の特定事業は、NPO法人のスキルアップに重点を置かれていると思っています。NPO法人が果たす役割は、社会的な背景からその期待が高まっている一方で、事業報告書の不備や組織運営に行き詰まるなどの課題も聞かれます。その課題があることで、せっかくいい活動をしている

でも、組織としての信用を得づらく、社会に活動内容やその意味を伝えづらい状況に陥りがちだと感じています。NPO法人等のリーダーやスタッフの方々が、組織マネジメントや事務力を強化でき、今後さらに活躍していただけるような特定事業を実施します。近い将来、NPO法人が社会的な信用

を得、NPOの全体的な底上げにつながればいいと思います。

また、今日の地域社会を取り巻く環境の変化や多様化・複雑化する社会課題や福祉ニーズを個々の取り組みで解決することは難しくなっており、活動者や活動団体同士の横のつながりや多種多様な機関の協働が強く求められています。ゆうあいセンターは、中間支援を担う多様な機関と連携を図りながら、より広く・深く県全体にゆきわたるような事業展開を図っていきます。

ゆうあい君

より効果的に4つの

特定事業を活用していくことはもちろん、ゆうあいセンターを管理運営する岡山NPOセンターと県社協が持つ、幅広いネットワークを活かした協働推進のネットワーク化によって、県全域のボランティア・NPO活動の推進を支援していくんですね。次に石田さん、人口構造が激しく変化していか、どの地域も様々な課題を抱えています。同じ県域の支援組織として、また、ゆうあいセンター

のよきパートナーとして、みんなで作る財団おかやまさんから、ゆうあいセンターへ期待する役割をお聞かせください。

センターに期待する役割



公益財団法人
みんなで作る財団 おかやま
代表理事 石田篤史さん

石田さん ゆうあいセンターは、いろんな人が来るので、ぜひ相手の立場に合わせた、つなぎ役になってもらいたいと思います。ゆうあいセンターとの関わりをきっかけに、ボランティア・NPO活動団体の戦力となっていく人もいるだろうし、活動に参画することが、その人自身の喜びや、やりがいの機会の提供にもつながる。関わり方や目的も人それぞれ違うと思うので、うまくいかないでいいです。宮原さんと西村さんのお

話のなかにあつたNPO支援組織の育成やNPOの役割の高まりについて、「自分たちがやらなきゃ」という想いが強すぎて空回りしている。まわりにいろんな仕組みや機能があり、支援機関に接することで、情報をお互いにパスができる関係にする。ゆうあいセンターで、関わりやすさのハードルを下げてもらうといいのかなと思います。ゆうあいセンター自体も、これは地域の支援センターに任せよう、ほかの機関に任せようを含めて、適切なところにつなぐ。まずは、ゆうあいセンターからいろんなサービスが広がると思います。

センターの管理運営にあたって

岡さん 人との関係づくりを大切にしていきたいと思っています。受付業務において、相手の顔が見える、風とおしがい対応を心掛けるこ

とにより、利用者さんのほうが自分の顔を覚えてくれ、話しかけてくれる。そんな関係性を築くことから、日ごろの何気ない世間話のなかで問題・課題を見つけれられるような対応を目指していきたいし、ゆうあいセンターがそうあればよいと思います。

西村さん 信頼関係を築くことが大事だよ。



岡山県社会福祉協議会 地域福祉部 主事
ゆうあいセンタースタッフ

岡 秀悟さん

センター自主事業の実施目的

西村さん 特定事業がNPO法人のより専門的な支援ならば、自主事業はどちらかといえば裾野の拡大。社会参加をする人を増やして



NPO法人 岡山NPOセンター
ゆうあいセンター長

西村ころろさん

いく、社会参加のきっかけをより多く提供していきます。石田さんが言われていたように、ボランティアを始めてみようとか、ゆうあいセンターを訪れるきっかけや動機は人それぞれ。個別ニーズを丁寧に拾い、適切につなげる。はじめの一步を踏み出す際、背中を少しだけ押してあげられるような、そんなコーディネートができればと思っています。若い時からまづづくりに関わるこの意味や、やりがいを楽しみながら少しずつ知ってもらおう。働いている世代には、仕事や家庭以外の場所で活躍することの意味や楽しさを知っていた。シニア層に向けては、生きがいや健康づくりを含めた地域社会での活躍の場の提供など、幅広

く多様な世代に働きかけていく。そんな盛りだくさんな事業を用意しているの、ぜひご参加いただきたいと思っています。

ゆうあい君 ゆうあいセンターの活動や参加募集案内は、ホームページ等で確認できるほか、ボランティアやNPOに関するご相談やご質問は、お気軽にゆうあいセンターへお問い合わせください。

岡山県ボランティア・NPO活動支援センター

「ゆうあいセンター」



ゆうあい君

岡山市北区南方2-13-1 きらめきプラザ2階
TEL : 086-231-0532 / FAX : 086-231-0541
E-mail : youi@okayama-share.jp
URL : <http://youi-c.okayama-share.jp/>
Facebook : <https://www.facebook.com/youiic>

赤い羽根共同募金



岡山県共同募金会

共同募金配分交付式

27年度に県民の皆様からお寄せいただいた募金の配分先が決定し、4月11日（月）きらめきプラザにおいて「共同募金配分交付式」を開催致しました。配分を受ける117施設・団体に対し、本会藤本道生会長より配分総額210,540,000円の配分決定通知書が交付され、地域福祉の更なる向上に活用されます。



平成27年度共同募金配分（平成28年度事業実施分）

受 配 者 ・ 事 業	内 容	配 分 額（円）
県・市町村社会福祉協議会	地域福祉活動費等	169,860,000
民間社会福祉施設	備品・車両整備費等	20,580,000
民間県域福祉関係団体	活動費等	7,620,000
赤い羽根ボランティア団体・NPO活動支援事業	ボランティア団体・NPO活動費	2,170,000
「地域から孤立をなくそう」ささえあいプロジェクト	NPO活動費等	7,130,000
NHK歳末たすけあい2次配分	福祉施設の備品整備・福祉団体の活動費	3,180,000
合 計		210,540,000

赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」参加団体の募集について

本プロジェクトは、地域の様々な社会課題の解決に取り組んでいるNPO法人等と協働し、社会課題を解決していく必要性を広く県民の皆様々にアピールしながら、NPO法人等の活動に必要な資金を募集するものです。

募金は、寄付者が使いみちを指定できる使途選択募金とし、寄付者が共同募金会専用の郵便払込票により参加団体を指定し、その指定した参加団体の活動費として共同募金会を通じて助成されます。

地域の社会課題の解決に取り組むNPO法人等の多くの参加をお願いいたします。

《参加団体要件》

- ・子育て支援及び児童健全育成に関する活動
- ・高齢者の生活支援及び社会参加に関する活動
- ・障がい者の生活支援及び社会参加に関する活動
- ・生活困窮者への支援活動
- ・孤立を防ぎ、またその解消を図るための支援活動
- ・自殺予防活動
- ・その他地域の社会課題の解決を図る支援活動

《募集期限》

平成28年6月15日（活動範囲：市町村区域内）
平成28年6月30日（活動範囲：県域）

《応募方法・申請書提出先等》

本会HP参照（<http://akaihane-okayama.or.jp/>）

「赤い羽根共同募金

『地域ささえあいプロジェクト』実施要項

として掲載

《お問い合わせ》 岡山県共同募金会 TEL：086-223-0065

事業報告・決算報告

第6次岡山県社協経営・

活動計画（平成25年度から
29年度までの5か年）の中

間見直しと改善を行い、「県民主
体および県民参画を基本とした福
祉「コミュニティづくり」を基本理
念とし、4つの経営方針の達成に
向けて各種事業を推進しました。

【4つの経営方針及び推進目標達成率】(全体平均92%)

経営方針 1	法人経営・運営組織の整備	92%
経営方針 2	福祉のまちづくりに向けた県民参画の基盤整備 利用者保護・支援の仕組みづくりの推進 福祉サービスの質の向上	89%
経営方針 3	人事・労務管理体制の充実強化	95%
経営方針 4	財務基盤及び管理体制の整備	90%

経営方針1

組織「組織の実行力」

【主な成果】

◇経営企画委員会において、計画
の中間評価並びに修正、公的財
源の動向、事業の新規受託並び
に契約解除、社会福祉法人制度
を取り巻く状況等について、多
角的な視点から協議を行い、役
員会に報告した。

◇広報活動強化方針に基づく取り
組みを実施した。

◇ネットワーク環境の見直しをは
じめ、情報関連の改善を行った。

◇災害福祉支援ネットワークの構
築に向けて、局内職員特命チー
ムを編成し、推進会議並びにセ
ミナーを開催した。

経営方針2

活動「地域の福祉力」

【主な成果】

◇小地域福祉活動活性化アクション
プランの実現に向け、小地域
福祉活動推進研究会による研究
を基に取り組みを実施した。

◇コミュニティソーシャルワーカー

ー養成講座の開催をはじめ、専
門職の育成と実践力の向上に努
めた。

◇県社協ボランティア・NPO活
動支援センターアクションプラ
ンを策定し、市町村社協におけ
る取組の充実に取り組んだ。

◇市町村社協活動活性化支援事業
の助成を4社協に行った。

◇県域の権利擁護支援体制の充実
に向けて「岡山県市民後見人情
報交換会」を開催するとともに、
市町村社協における環境づくり
の支援を行った。

◇社会福祉法人制度改革に対応し
セミナー等の開催はじめ情報提
供、支援を行った。

◇岡山県福祉・介護人材確保対策
推進協議会を開催し、人材確保
に向けた対応検討を行った。

◇「介護の日」関連事業として、
介護の魅力を伝えるイベントを
開催し好評を得た。

◇福祉業界PRのため、「Let's
Try Welfare 福祉紹介キ
ャンペーン」に継続的に取り組
み、福祉の仕事の魅力発信に努

めた。

◇研修実施機関としての機能強化
に向けた取り組みを行った。

経営方針3

人事・労務「人材の創造力」

【主な成果】

◇労働環境、雇用環境の整備を積
極的に行い、人事管理制度の充
実を図った。

◇年度研修計画に基づく、個人研
修計画を作成し、資質向上に努
めた。

◇計画の重点事業推進にむけ、2
つの特命チームと2つの班を部
横断で編成し取り組んだ。

経営方針4

財務「経営の自立力」

【主な成果】

◇法人経営の安定化の為、自主財
源の増強に努めるとともに、民
間財源の有効活用を行った。

◇財務諸表をホームページ上で公
表し、より透明性の高い財務管
理に努めた。

事業活動計算書

(自)平成27年 4月 1日 (至)平成28年 3月31日

法人名: 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会

(単位: 円)

勘 定 科 目	一般会計						生活福祉資金 会計	要保護世帯向 不動産担保型 生活資金会計	生活福祉資金 貸付事務費会計	臨時特例つなぎ 資金会計
	社会福祉事業	公益事業	収益事業	計	内部取引消去	合計				
サービス活動増減の部										
収 益										
会費収益	36,096,300	0	0	36,096,300	0	36,096,300	0	0	0	0
分担金収益	2,100,000	0	0	2,100,000	0	2,100,000	0	0	0	0
寄附金収益	1,265,000	0	0	1,265,000	0	1,265,000	0	0	0	0
経常経費補助金収益	87,157,040	7,860,000	0	95,017,040	0	95,017,040	0	0	31,790,000	0
受託金収益	120,505,174	10,503,380	0	131,008,554	0	131,008,554	0	0	0	0
貸付事業収益	0	18,519	0	18,519	0	18,519	2,074,171	0	0	0
事業収益	47,140,100	179,758,116	12,297,614	239,195,830	△	239,182,830	0	0	0	0
負担金収益	33,310,800	9,902,000	0	43,212,800	0	43,212,800	0	0	0	0
その他の収益	12,869,920	0	0	12,869,920	0	12,869,920	0	0	0	0
サービス活動収益計(1)	340,444,334	208,042,015	12,297,614	560,783,963	△	560,770,963	2,074,171	0	31,790,000	0
費 用										
人件費	199,479,467	30,139,781	4,215,370	233,834,618	0	233,834,618	0	0	31,796,982	2,564,736
事業費	129,617,872	159,629,420	0	289,247,292	△	289,234,292	0	0	34,646,324	424,396
事務費	8,315,093	5,763,158	1,054,394	15,132,645	0	15,132,645	0	0	4,903,064	274,770
販売原価費用	0	0	5,626,834	5,626,834	0	5,626,834	0	0	0	0
分担金費用	1,291,000	0	0	1,291,000	0	1,291,000	0	0	0	0
助成金費用	12,453,100	10,882,500	0	23,335,600	0	23,335,600	0	0	0	0
負担金費用	7,454,400	6,224,500	0	13,678,900	0	13,678,900	0	0	0	0
基金組入額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
減価償却費	2,693,470	464,588	0	3,158,058	0	3,158,058	0	0	839,395	0
国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0	0	0	0	0	0	△	753,840	0
徴収不能額	0	286	0	286	0	286	132,200	0	0	0
徴収不能引当金繰入	0	0	0	0	0	0	18,397,674	0	0	0
その他の費用	7,855	29,900,833	0	29,908,688	0	29,908,688	0	0	0	0
サービス活動費用計(2)	361,312,257	243,005,066	10,896,598	615,213,921	△	615,200,921	18,529,874	0	71,431,925	3,263,902
サービス活動増減差額(3=1-2)	△ 20,867,923	△ 34,963,051	1,401,016	△ 54,429,958	0	△ 54,429,958	△ 16,455,703	0	△ 39,641,925	△ 3,263,902
サービス活動外増減の部										
収 益										
受取利息配当金収益	8,099,653	14,031,817	250	22,131,720	0	22,131,720	9,054,829	9,732	2,628	3,057
投資有価証券評価益	1,710,579	111,942,263	0	113,652,842	0	113,652,842	0	0	0	0
投資有価証券売却益	1,223,000	0	0	1,223,000	0	1,223,000	0	0	0	0
その他のサービス活動外収益	15,315	0	0	15,315	0	15,315	66,955	0	0	0
サービス活動外収益計(4)	11,048,547	125,974,080	250	137,022,877	0	137,022,877	9,121,784	9,732	2,628	3,057
費 用										
投資有価証券評価損	832,202	0	0	832,202	0	832,202	0	0	0	0
投資有価証券売却損	305,000	590,820	0	895,820	0	895,820	0	0	0	0
その他のサービス活動外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス活動外費用計(5)	1,137,202	590,820	0	1,728,022	0	1,728,022	0	0	0	0
サービス活動外増減差額(6=4-5)	9,911,345	125,383,260	250	135,294,855	0	135,294,855	9,121,784	9,732	2,628	3,057
経常増減差額(7=3+6)	△ 10,956,578	90,420,209	1,401,266	80,864,897	0	80,864,897	△ 7,333,919	9,732	△ 39,639,297	△ 3,260,845
特別増減の部										
収 益										
貸付資金補助金収益	0	0	0	0	0	0	0	14,413,000	0	0
会計単位間繰入金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	36,113,723	0
事業区分間繰入金収益	4,300,238	0	0	4,300,238	△	4,300,238	0	0	0	0
一般会計固定資産移管収益	0	0	0	0	0	0	0	0	24,831,726	0
生活福祉資金貸付事務費会計固定資産移管収益	24,187,556	0	0	24,187,556	0	24,187,556	0	0	0	0
事業区分間固定資産移管収益	27,385,761	29,562,021	0	56,947,782	△	56,947,782	0	0	0	0
その他の特別収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別収益計(8)	55,873,555	29,562,021	0	85,435,576	△	85,435,576	0	14,413,000	60,945,449	0
費 用										
固定資産売却損・処分損	0	1	0	1	0	1	0	0	2	0
国庫補助金等特別積立金積立額	0	0	0	0	0	0	0	14,413,000	0	0
生活福祉資金貸付事務費会計繰入金費用	0	0	0	0	0	0	36,103,991	9,732	0	0
事業区分間繰入金費用	0	2,800,238	1,500,000	4,300,238	△	4,300,238	0	0	0	0
一般会計固定資産移管費用	0	0	0	0	0	0	0	0	24,187,556	0
生活福祉資金貸付事務費会計固定資産移管費用	24,831,726	0	0	24,831,726	0	24,831,726	0	0	0	0
事業区分間固定資産移管費用	29,562,021	27,385,761	0	56,947,782	△	56,947,782	0	0	0	0
特別費用計(9)	54,393,747	30,186,000	1,500,000	86,079,747	△	86,079,747	36,103,991	14,422,732	24,187,556	0
特別増減差額(10=8-9)	1,479,808	△ 623,979	△ 1,500,000	△ 644,171	0	△ 644,171	△ 36,103,991	△ 9,732	36,757,891	0
当期活動増減差額(11=7+10)	△ 9,476,770	89,796,230	△ 98,734	80,220,726	0	80,220,726	△ 43,437,910	0	△ 2,881,406	△ 3,260,845
繰越活動増減差額の部										
前期繰越活動増減差額(12)	30,009,769	440,761,278	361,184	471,132,231	0	471,132,231	△ 146,558,463	0	15,389,660	△ 36,647,503
当期末繰越活動増減差額(13=11+12)	20,532,999	530,557,508	262,450	551,352,957	0	551,352,957	△ 189,996,373	0	12,508,254	△ 39,908,348
基本金取崩額(14)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国庫補助金等特別積立金取崩額(15)	0	0	0	0	0	0	24,770,000	0	0	0
その他の積立金取崩額(16)	1,137,202	603,668	0	1,740,870	0	1,740,870	132,200	0	0	0
その他の積立金積立額(17)	4,196,579	111,942,263	0	116,140,842	0	116,140,842	718,758	0	0	0
次期繰越活動増減差額(18=13+14+15+16-17)	17,471,622	419,218,913	262,450	436,952,985	0	436,952,985	△ 165,812,931	0	12,508,254	△ 39,908,348

一般会計貸借対照表

平成28年3月31日現在

社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会		(単位: 円)	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	183,996,221	流動負債	10,341,284
固定資産	12,887,141,788	固定負債	10,866,683,866
基本財産	30,000,000	負債の部合計	10,877,025,150
その他の固定資産	12,857,141,788	純資産の部	
		その他の積立金	1,757,159,874
		次期繰越活動増減差額	436,952,985
		(うち当期活動増減差額)	(80,220,726)
		純資産の部合計	2,194,112,859
資産の部合計	13,071,138,009	負債及び純資産の部合計	13,071,138,009

生活福祉資金4会計貸借対照表

平成28年3月31日現在

社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会		(単位: 円)	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	2,659,293,759	流動負債	1,643,539
固定資産	935,723,774	固定負債	43,084,887
その他の固定資産	935,723,774	負債の部合計	44,728,426
		純資産の部	
		国庫補助金等特別積立金	3,388,727,763
		その他の積立金	354,774,369
		次期繰越活動増減差額	△ 193,213,025
		純資産の部合計	3,550,289,107
資産の部合計	3,595,017,533	負債及び純資産の部合計	3,595,017,533

閲覧ができます

平成27年度事業報告書、決算書は、ホームページ上で公開するとともに、岡山県社会福祉協議会において閲覧することができます。

【お問い合わせ先】岡山県社会福祉協議会 総務企画部 TEL 086 (226) 2822

H28権利擁護フォーラム のご案内(7・28(木))

成年後見制度利用促進のための普及啓発を図るとともに、判断能力に不安を抱えた高齢者・障害者の方々が地域で自立した生活が安心して送れる地域社会の実現に向けて、県民および関係者が共通認識を図ることを目的に開催します。

【日時】7月28日(木)

13時～16時30分

【会場】岡山コンベンションセンター
(岡山市北区駅元町14-1)

【内容】

・基調講義「地域で支えあい！精神障害者の特性と対応」

《講師》メンタルセンター岡山
所長 医師 野口正行氏

・シンポジウム「地域で支え合う権利擁護支援活動の実現に向けて」

【定員】500名

【参加費】一般1,000円

社協関係者無料

【申込方法】7月1日(金)までにお申込ください。詳細はホームページにてご確認ください。

【お問い合わせ先】

岡山県社会福祉協議会
生活支援部

TEL・086・226・4145

高齢者・障がい者 なんでも相談会のご案内

毎日の生活の中で、法律や福祉について困っていること、悩んでいることはありませんか？

地域で安心して生活できるように法律や福祉についてのご質問・ご相談をお受けします。

【定期開催】

主催：岡山高齢者・障がい者権利擁護ネットワーク懇談会

【日時】毎月第1土曜日13時から16時まで(祝日の場合は第2土曜日)

【会場】きらめきプラザ2階
(岡山市北区南方2-13-1)

相談内容：相続、財産管理、成年後見、借金、虐待など

○相談無料○予約不要
○相談時間制限なし

【巡回相談】

【日時】7月9日(土) 10時～15時

【会場】新見市保健福祉センター

当日は、ボランティアで専門職(弁護士、司法書士、税理士、社会福祉士等)が相談をお受けします。

【お問い合わせ先】

岡山県社会福祉協議会
生活支援部

TEL・086・226・4145

社会福祉法人の 会計を完全フォロー!

曲
新会計基準
移行チェック

- ・財務諸表等の承認や公開は正しくできていますか?
- ・ワンイヤールールを適用した決算書になっていますか?
- ・国庫補助積立金の取崩は正しくできていますか?

曲
記帳代行
サービス

- ・決算をしてみたたらまったく数字があわなかった
- ・やらないとだめなのはわかっていてけど他の業務に追われて後回しに...

思い当たるあなたは今すぐ!

社福経営サポートクラブ

株式会社 創明コンサルティング・ブレイン
SCB 公認会計士・税理士 宮崎 会計事務所

0120-747-824

〈受付時間〉9:00～17:30(平日)

ホームページ <http://www.ssc-scb.com>
〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野713番地10

私たちに
ご相談
ください!



福祉の労務管理は福祉の社労士にお任せください!



労務管理で
困っている

- ・就業規則の見直し
- ・人材育成
- ・人材定着
- ・助成金の活用
- ・セミナー講師
- ・業務の効率化

Ai あい社会保険労務士法人 ☎ 0863-81-5634

特定社会保険労務士 佐藤起世子
〒706-0024 玉野市御崎2-3-13

あい社会保険労務士法人 検索

<http://aisr.or.jp/> メルマガ募集中!
メルマガは HP からお申し込みください。

現場からの発信

不登校・ひきこもりの子と親の居場所づくり

～フリースペースあかね～

内閣府の『子ども・若者白書』によると全国の小中学生の約12万人が不登校で、「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する」者を含む広義の引きこもりの若者は約69・6万人と推計されており、地域はもちろん、学校や家庭の中にも居場所を見出せず、生きづらさを抱えている子どもや若者たちが増加しています。

今月号では、「不登校・ひきこもりの子と親の居場所づくり」を行っている「フリースペースあかね（以下あかね）」の取り組みについて代表の中山遼さんにお話を伺いました。

フリースペースあかねとは

不登校・ひきこもりの子ども・若者とその親など様々な生きづら

さを抱えた人々が自らを育て、元氣を取り戻すための居場所です。

あかねでは皆、自由に過ごします。誰かと話すのも自由、誰とも話さないのも自由。どう過ごすかは自分で決めてもらい、皆でテーブルを囲んでボードゲームをしたり、楽器を演奏したり、好きな本や漫画を持ってきて読む子やひとりで絵を描く子もいます。

開設時間は、月曜日から金曜日の12時～16時30分。1回500円で、毎回、小中学生から若者、親も含め、約10名程度が利用し、年間では延べ約1500人の方が利用しています。職員は3名でスタッフのほとんどはボランティアの方に協力いただいています。スタッフは支援するというよりは、本人たち同士のつながりをサポートするよう心掛けています。あかねという居場所を通じて利用者同士の新たな交流やつながりも育まれ

ています。また、コミュニケーションが苦手だった子がその空間を共に過ごすことだけで、「何もしない自分を受入れてくれたことがうれしかった」とも言われています。



皆が集う居間。その他台所や一人になりたい時の引きこもり部屋もあります

活動のきっかけ

約15年前に不登校を題材にした映画「あかね色の空をみたよ」の制作や上映運動に関わった人たちを中心に子どもたちの居場所を作りたいという思いから2001年4月にフリースペースあかねを開設しました。今年で15年になり、途中、運営の存続が厳しい時もありましたが、会員の方からの「居場所をなくさないで」という声もあり、多くの方に支えられながら

活動を続けています。

9年前には、市教育委員会と連携し、あかねに来ることで『出席に準ずる扱い』にもなっています。

『居場所づくり』を中心とした活動

居場所づくりを活動の中心において、居場所に来られない方への訪問相談や進学・復学に向けた学習支援、社会への半歩をサポートするための就労体験なども行っています。また、中学生以上の若者の集いや親の会も開催しています。特に親への支援については大事にしています。あかねには幸いにも親の参加も多く、「親が元氣になれば、子どもも元氣になる」を合言葉に、あかねに来ている親、家に引きこもっている子どもの親、困難な時期を通り過ぎた親が一緒に語り合います。日頃の想いに共感を持って受け止めてもらい、経験者の話を聞くことで励まされたりもしています。

あかね通信・ポラーノ通信の発行

あかね支援会員さんに特典として会報を送付しています。不登校やひきこもりを経験した当事者やその親御さんの手記など、この通

信を見るとあかねの様子がよくわかります。体験記やエピソードが詰まっていて、あかねには来ていないけど、元気をもらっているという声も多かったです。

また、この4月にNPO法人格を取得しました。あかねは開設した当初からあかね支援会員により運営が成り立っていると言っても過言ではありません。あかね支援会員という形で個人の小さな共感を行動に変えてもらったうれし



過去号掲載した通信冊子も作成

今後に向けて

自分たちが数字以上に問題と考えているのは、どこの相談機関にも関わっていない子がいること。市内には適応指導教室が4箇所あるものの、不登校の約700名のうち50名程度しか通っていない現状があり、それ以外の多くの子どもたちが無支援状況になっているのではないかと推測されます。不登校からひきこもり、生活苦など、

どこでその連鎖を食い止めるかが大事だと考えています。そのためには、いかに早期発見・支援につなげていくか、民生委員さんや教育委員会をはじめ、多くの方とつながっていくことが必要と感じています。

また、あかねから社会に出るステップの支援にも力を入れていきたいです。あかねで支援ツールを考えるのか、他団体とコラボレーションすることで作っていくのかも考えていきたいです。



お話を伺った代表の中山 遼さん

【お問い合わせ先】

フリースペースあかね
岡山市北区関西町3-11
TEL 086-256-7122
メール ts-akane@pol.oninet.ne.jp

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成28年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

補償金額（保険金額）

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,200万円	1,800万円
	後遺障害保険金		1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償 葬祭費用保険金 (特定感染症)	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ 300万円(限度額)		
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料（1名あたり）

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		300円	450円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・風水・津波)		430円	650円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第三課
TEL: 03 (3593) 6824
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJK15-17042 2015.02.18作成)

『ふくし』の

仕事人たち

Vol.26

このコーナーでは、本会の会員である施設・団体等で働く「ふくし」の
仕事に携わる人たちの声を紹介していきます。岡山聖園子供の家
みやべ けいこ さん
宮部 圭子 さん

②今、主にどんな仕事をしていま
すか？

現在は2〜6歳の子が生活して
いる「幼児部」で生活全般のお世
話や、園内行事の運営、実習生の
受け入れ等を行っています。

また、岡山県児童養護施設等協
議会が行うイベントや研修会など
の企画運営にも携わらせてもらっ
ています。

④一週間休みがとれたら何をしま
すか？

旅行に行きたいです。近場で温
泉を巡るのもいいですし、沖縄
の離島でのんびりしたり、北海道
をレンタカーで一周もやってみた
いです。旅行に行く前に、ガイド
ブックなどいろいろな調べて計画
を立てるのも好きです。

⑤今後、トライしてみたいこと
は？

子どもたちは様々な理由で生活
場所を転々としなければならぬ
状況にあります。生活環境や人的
環境が大きく変わってしまうこと
はとても不安だし、ストレスにも
なります。生活場所が変わらない
ようにするのは難しいかもしれま
せんが、各関係機関同士がもっと
近い存在になり、お互いにつで
も情報共有し相談できる関係にあ
れば、少しでも子どもの不安を軽
減できるのではないかと思います。
いろいろな場面での移行支援に
ついて、子どもの気持ちになつて、
もっと丁寧にしていきたいです。

①「ふくしの仕事」をはじめたき
っかけ？

子どもが好きで「保育士」にな
りました。短大の先生に紹介され
今の仕事に就きましたが、最初は
「大変な職場にきてしまった。」
と後悔もありました。しかし、子
ども達と過ごす中で今までは
感じたことのない『喜怒哀楽』や、
お互いの成長に刺激を受け、もっ
と子ども達と一緒にいたい、子ど
も達の為に何かしていきたいと思
うようになってきました。

③仕事を通じて体験したエピソードを教えてください。

以前担当していた子どもが中学
三年生の時、一人で自転車で出か
け、夜S駅で保護されました。理
由を聞くと「家に行きたい。」と
いうことだったので、後日一緒に
自転車で片道三時間近くかけてW
町にある彼女の家に行きました。
そこにはもう誰も住んではいませ
んでしたが、隣の家に住んでいる
方とお話をする事ができました。
本来の目的は達成できませんでし
たが、自分の力で家に行き、家族
の話を聞くことができたという事
が彼女の中では一つの転機となっ
たように思います。

SELP商品の紹介

特定非営利活動法人
みつば地域生活サポートセンター
就労継続支援B型事業所 みつば会

みつば会は、利用者さんが楽しく作業
できる場であることを目指しています。
夏向けのレース編みは大変細かい作業で
すが、ひと針ひと針丁寧に取り組んでい
ます。デザイン豊富でどれも大変きれいな
仕上がりになっています。気に入って
いただき、再度注文して下さる方もあ
り、やりがいにつながっています。
レース編みの他に、刺し子・刺繍、布
製品、毛糸編みにも取り組んでいます。
また、お客様の要望に応じた注文も
承っています。



●商品名 レース編み ●価 格 300円(税込)～

【お問い合わせ先】

みつば会

〒703-8293

岡山市中区小橋町1-1-30

TEL (086) 272-1788

FAX (086) 273-1666

編集後記

梅雨の時期がやってきました。仕事の日の雨は憂鬱ですが、私は雨の音が大好きで、聞いていると癒されます。意外と雨の音が好きな人は多いようで、「雨の音」を集めたCDも発売されているそうです。何かと煩わしい雨ですが、時にはその音に耳を傾けてみると、意外な癒し効果が実感できるかもしれませんよ。